

2025安全衛生白書

(2024年4月～2025年9月)



安全健康推進部 安全衛生推進室

2025年10月

労働安全衛生方針

愛三工業はすべての事業所において、以下の労働安全衛生方針を設定し、推進しています。

愛三工業株式会社 労働安全衛生方針

安全健康統括 経営役員

山本 尚之



【理念】

労働安全衛生は、企業の永続的な基盤を成すものであり、社会的責任を負うものであるという認識のもと、
「人間性の尊重」「健康第一」「安全第一」を基本理念とし、安全で安心な働きやすい職場環境づくり活動を
全員参加により推進する。

【方針】

1. 組織体制を確立し、役割と目標を明確にして、改善活動を継続的に実施し、労働安全衛生水準の向上を図る。
2. 労働安全衛生に関する法令や規制などを確実に順守し、労働安全衛生管理に努める。
3. 職場の危険性、有害性を改善し、明るく快適で、健康的な職場づくりに努める。
4. 全ての従業員に対し、十分な教育・訓練を実施する。
5. 安全と健康な心身確保のため、従業員との話し合いを尊重し、全員参加の安全衛生活動を推進する。

愛三工業の安全経営

当社は、社員一人ひとりが安全を第一に考え、**安全で健康にイキイキと働き続けられる職場環境の実現**に取り組んでいます。社員およびその家族、取引先、地域社会、さらに地球の未来を見据え、安全衛生活動を通じて豊かな社会づくりに貢献します。全社一丸となって労働災害ゼロを目指します。

労働災害には様々な要因がありますが、まずは一人ひとりが次の3つを今から実践しましょう！

1. 止める

危険や違和感を感じたら止める、立ち止まる

2. 考える

危険を予知する（KY）、想像してみる

3. あわてない

心を落ち着けて行動する

必ずできます。みんなで災害のない職場をつくりましょう！



ISO45001



安全健康統括 経営役員

山本 尚之

労働安全衛生マネジメントシステム

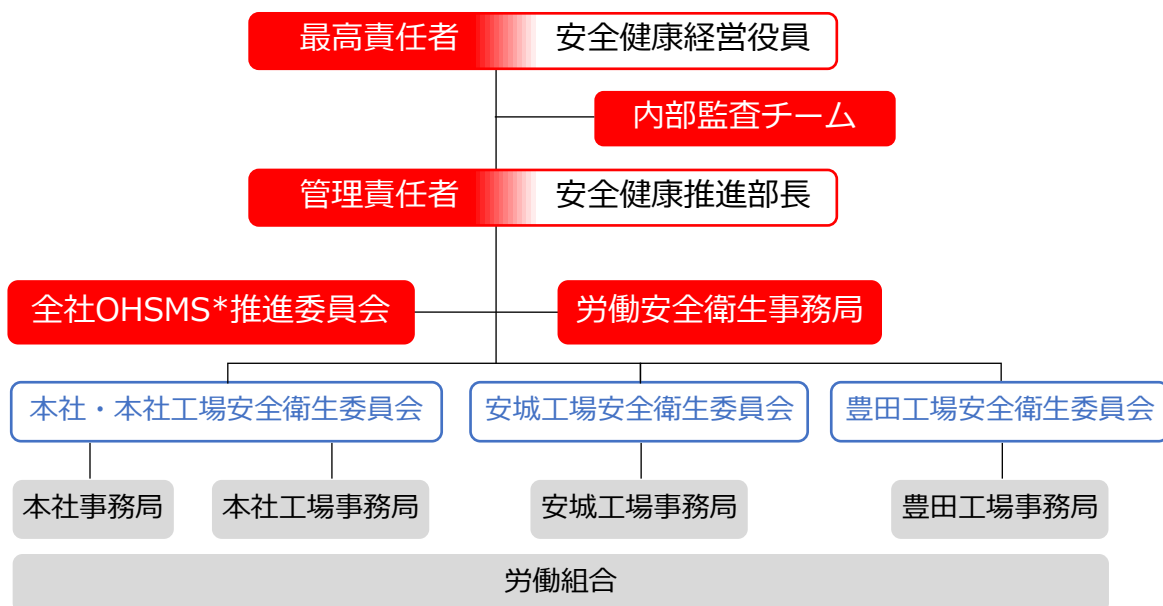
2021年11月に認証取得した国際規格である労働安全衛生マネジメントシステム「ISO45001」の推進体制をベースに、各職場が主体となった活動を展開しています。

労働安全衛生マネジメントシステムの適用範囲

- 【地域】 ○本社/本社工場（愛知県大府市共和町一丁目1番地の1） ○安城工場（愛知県安城市東端町北山100番地）
○豊田工場（愛知県豊田市西広瀬町小麦生635番地30） ○広瀬テクニカルセンター（愛知県豊田市西広瀬町川原田519-3）
- 【機能】 自動車部品の開発・設計・製造・販売に関わる製品・サービスの提供
- 【要員】 当社に勤務する経営層・管理職・従業員に適用する

▶推進体制

各事業所の安全衛生事務局、職場、労働組合など、一体となった活動を推進しています。



※OHSMS : Occupational Safety and Health Management Systemの略称。
「労働安全衛生マネジメントシステム」を指す。

▶サポート体制

各事業所、従業員の安全・健康を守るための専門的な活動を推進しています。

- | | | | |
|------------|--------|------|--------|
| ・産業医 | 2名（外部） | ・保健師 | 5名 |
| ・衛生管理者 | 13名 | ・看護師 | 5名 |
| ・安全管理者 | 15名 | ・心理士 | 2名（外部） |
| ・労働安全衛生事務局 | 19名 | | |

▶愛三グループの認証状況

労働安全衛生水準の継続的な改善を推進するため、グローバルで導入を進めています。

2022年9月時点

地域	ISO45001 認証会社	OHSAS18001 認証会社
日本 (7社)	1社	—
アジア (12社)	2社	1社
米州 (5社)	1社	—
欧州 (4社)	—	—

目指す姿と推進内容

『一人ひとりが安全第一で働く意識を持ち、安全で衛生的な職場環境を皆でつくりあげて、労働災害ゼロ!!』

ねらいと実施内容（労使協議のうえ）		
人・風土づくり	安全衛生教育の充実	法令教育の確実な実施、動画教育による学びやすさ向上
	体感して仲間と学べる機会の提供	安全道場リニューアル、VR災害体感機、出張安全防災トラック
	安全意識調査の見える化で意識向上	安全意識調査の推進・課題共有
	安全の会話が自然に交わされる風土づくり	『安全健康の日』の設立
職場づくり	安全な職場が評価される文化	社内表彰制度『Aisan Award』による安全職場表彰
	リスクアセスメントの推進	作業RA、化学物質RA
	だれもが安全に働ける職場づくり	ダイバーシティを考慮した作業場
	職場の環境改善推進	安全パトロール、各種ワーキング
社会貢献	労働安全衛生関連法令の遵守	調査表や届け出の仕組み化で法令違反防止
	愛三グループ全体での安全な企業づくり	グループ会社支援（国内、海外）
	地域社会への協力で町一番の安全健康な企業	献血・救命活動

人的資本経営基盤を支える3つの柱

だれもがいつまでも
安全で健康にイキイキ働ける
愛三グループを支える安全衛生推進

TOPIC.1 人・風土づくり「安全衛生教育の充実」

当社では、新入社員から管理職まで、全従業員を対象に、階層ごとの役割を理解するための教育を実施しています。人と職場の風土を育てるため、各種教育を充実し、全員参加で労働災害ゼロを目指す取り組みを推進します。

取り組み内容

労働安全衛生に関する教育実績（2024年度）

教育区分	主な対象者	受講人数[人]
管理者教育	管理職	19
階層別教育	新規昇格者、新人	146
作業主任	一般社員	63
作業資格	一般社員	64
特別教育	従業員	213
一般教育	一般社員	496
講師育成	主事クラス	14
合計		1,015

○教育の概要

従業員一人ひとりが「自分事」として安全衛生を捉え、また、日々の業務に活かしていくための意識付けと行動変容を促しています。継続的な教育と訓練を推進していきます。



オンライン教育

オンライン学習ツール「愛三マナビバ」を導入しています。いつでもアニメーションによる安全教育を受講することが可能です。



愛三マナビバのロゴ



受講イメージ

動画教育

2025年度より、雇い入れ時の安全教育を動画化しました。これにより教育内容の均一化を図っています。また、外国籍の方にも対応できるように順次、多言語化にも対応していきます。



教材画面

教材は社内HPで公開しており、いつでも復習することが可能です。

当社は、「人」を最重要視し、従業員が安心して働ける環境と風土づくりに注力しています。特に、座学だけでなく「体感型の安全教育」を積極的に行い、従業員の実践的な安全意識と対応力を高めています。これにより労働災害ゼロを目指し、従業員のプロ意識を育むことで、お客様や社会に信頼される安全で持続可能な事業運営の実現を目指します。

取り組み内容

安全道場

「仲間と体感し五感で学べる安全教育」をテーマに、安全道場をリニューアルしました。安全体感装置については、「挟まれ・巻き込まれ、溶剤・粉じん爆発」など、計7機を取り揃えています。実際の体感で、**危険感受性と安全意識の向上**を図ります。



安全体感教育



体感時の様子



安全道場主の皆さん



粉じん爆発体感機（一例）

VR災害体感教育

VR災害体感機を導入しています。従業員の危険感受性を高めるための教育を計画的に実施しています。



VR災害体感

参加者

約600名
(累計)

満足度

98%

防災・労災体感教育（移動式 防災教育センター ACSEL号）

従業員の安全意識向上を目的に、体感イベントを実施しています。



アジアクリエイト株式会社
移動式 体感型防災・防災教育センター
「ACSEL号」 体感時の様子



参加者

275名
(国内3拠点)

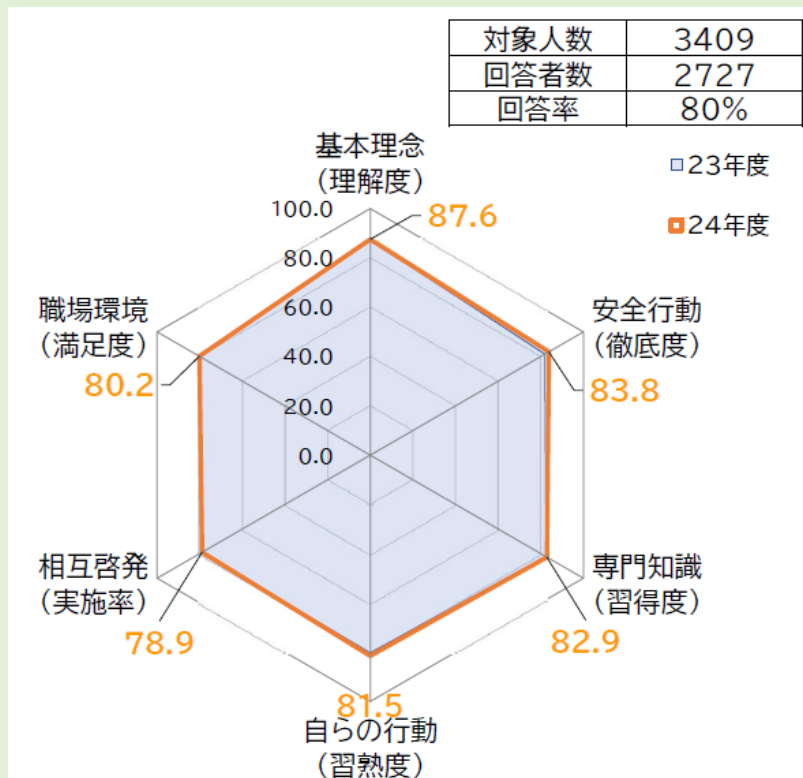
満足度

99%

当社は、安全意識の実態（傾向、課題など）を見える化し、より重点的かつ効果的な取り組みとしていくための意識レベルの指標化を設定し実施しています。見えた課題としては、自己評価と実際の結果に大きく乖離がある（できているつもりでできていない）ということがわかりました。目指す「自律型」、「相互啓発型」の人・文化づくりにつなげるために、長期目線で確実にレベルアップを図ります。

24年度 安全意識調査

設問を採点し、6つのカテゴリーごとに100点満点で結果を表示。



2024年度の安全意識調査レーダーチャート

愛三工業が目指す安全文化



見えた弱点を重点にさまざまな施策を講じ、「自律型」、「相互啓発型」の人・文化を形成していきます。

TOPIC.4 人・風土づくり「安全の会話が自然に交わされる風土づくり」

当社では、「安全健康の日」を推進しております。各職場のタイミングに合わせて「安全健康の日」として、職場の仲間同士で安全健康について学んだり会話してもらうことで、**安全と健康が当たり前に大切にされる文化醸成**を目的としています。

取り組み内容（一例）

仲間との会話

- ・「なぜ安全ルールが守れないのか？」を本音で話し合い、「どうしたら守れるか？」まで深掘して話し合うことで、やらされ感ではなく、一人ひとりの納得を大事にする。
- ・自分の趣味や見つけたニュースなどで安全健康に関わることを、輪番で毎週のミーティング後に発表。仲間の知らない面も知ることができたりコミュニケーション向上にも繋がる。

仲間との学び

- ・過去の災害事例をもとに「なぜ起きたか？」「どうすれば防げたか？」を考え合うことで自分事として考え自職場の改善につなげる。
- ・交通安全動画によるケーススタディで安全運転意識向上。
- ・毎週テーマを変えて皆で危険予知訓練。

仲間との改善

- ・毎日朝礼時に輪番で安全健康唱和をすることで意識向上。
- ・毎週水曜日の終業前10分を「5S」に当ててピカピカの安全職場を維持。



『安全の樹』
1人ひとりが考動を考え、葉っぱに記入
(安城工場 製造部の取り組み事例)

対象職場

全職場
(全従業員)

当社は、従業員が安心・安全に働ける「働きがいのある職場づくり」を推進しています。特に優れた安全衛生活動は「安全職場表彰」で称え、模範となる取り組みを全社で共有しています。これにより、企業の持続的成長と社会への貢献を目指しています。

取り組み内容

安全職場表彰

年に1回、1年間の成果を称えるAisan Award（アイサンアワード）を開催しています。その中で、「安全」の範囲で表彰基準を満足した職場には、「安全職場優秀賞」を進呈しています。

<安全職場優秀賞の受賞データ数（過去3年間）>

2022年	2023年	2024年
6職場	7職場	12職場

<参考：評価項目と評価基準>

評価項目	表彰基準
労働災害（不休災害以上）	①30万時間以上連続して発生していないこと
新規メンタル不全	②昨年度（4月から翌年3月）発生がないこと
加害交通事故	



山本経営役員（右）より、
受賞職場の方々にトロフィーを授与



Aisan Awardトロフィー

当社では、長年、作業に関わるリスクアセスメント(RA)を推進しています。また、新たな化学物質規制に対する自律的に管理できるRAの仕組みも構築するなどの対応をしています。

取り組み内容

リスクアセスメント

全社的にある程度定着してきたものの、マンネリ化や全社横断的なリスク共有・改善の面で課題が残っています。そこで、安全衛生スタッフが毎月各職場を順番に現地確認し、職場のリスクアセスメントに関する「**生の困りごと**」を吸い上げています。

新規事業や既存事業に伴う大きな危険源については、毎月の安全衛生委員会で労使が共有し、解決策を議論することで、**形だけで終わらず、労働災害防止につながる実効性のあるリスクアセスメントの推進**に努めています。



新工場の危険源洗い出し



危険な場所を関係者で共有・議論

化学物質リスクアセスメント

各職場で化学物質管理を推進するため、「化学物質管理者」、「保護具着用管理責任者」に加えて、新たに『**化学物質推進者**』を選任しています。推進者に化学物質の基礎知識を習得させ、化学物質リスクアセスメントに基づいて決定したリスク低減措置の、確実な実施を指導しています。また、**高リスク作業については各管理者と連携のうえ、改善活動を推進**しています。

＜化学物質推進者が取り組んだ改善事例＞

改善前



従来の耐水研磨紙に、がん原生物質の規制対象となる炭化ケイ素(SiC)が含有していることが判明。

改善後

本質的
対策

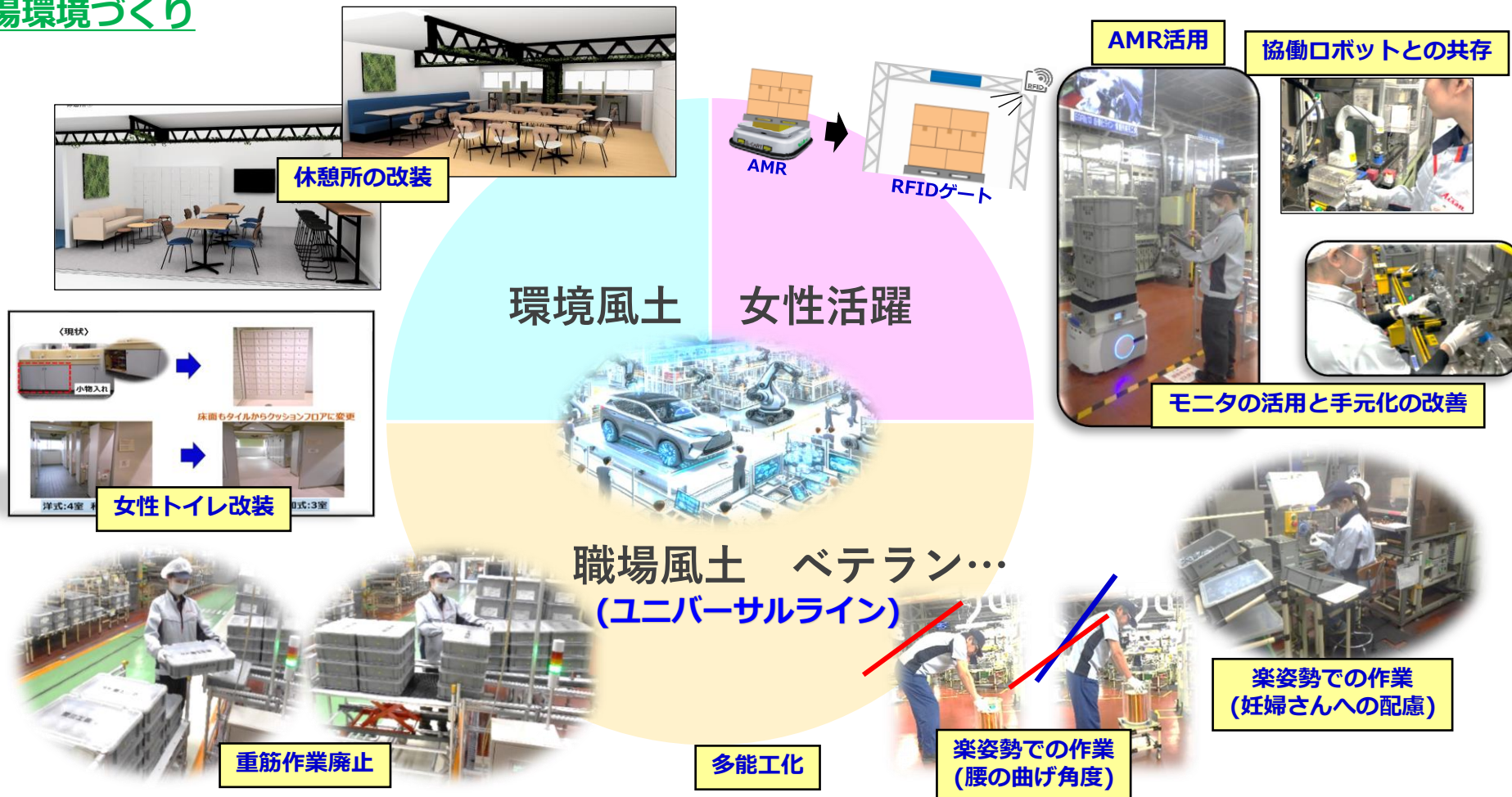


アルミナの耐水研磨紙に変更。がん原生物質としての必要な管理、安全対策が不要となった。

当社は、誰もが安心して働ける未来をつくるため、「**ユニバーサルライン**」の構築に取り組んでいます。年齢や性別、障害の有無にかかわらず、一人ひとりの特性に合わせた設備や支援を整えることで、だれもが安全に誇りを持って働ける職場づくりを推進しています。

取り組み事例

働きやすい職場環境づくり (本社工場)



職場の環境改善推進は、従業員が快適で生産的に働ける環境を整備し、物理的・精神的な側面から継続的に最適化を図る活動です。この活動を通じて、**互いに学び合い成長を促す相互啓発型の安全文化を醸成**し、個々の能力向上と組織全体のイノベーションを促進します。そして、従業員満足度の向上、高いエンゲージメント、そして企業の持続的な発展を目指します。

取り組み内容

安全パトロール

年間を通して様々な安全パトロールを実施しています。

- ・ 労使合同安全パトロール（通年を通して実施）
- ・ TOP点検（安全健康経営役員による点検）
- ・ 相互点検（職場間・工場間での点検）
- ・ 過去災害振り返り活動（職場内での点検）
- ・ 連休中外来工事 安全パトロール（安全スタッフによる点検）



労使合同安全パトロール



TOP点検

ワーキング活動

快適な職場環境の整備に向け、日々改善に取り組んでいます。近年の作業環境の変化を踏まえ、これまで以上に注力して全社横断での確な対策を講じるため、各種ワーキンググループを発足しました。安全確保やリスク低減、エンゲージメント向上、品質改善、省エネによるカーボンニュートラルへの貢献に向け、労使一体で取り組んでいます。

暑熱ワーキング活動事例（一例）

- ・ WBGT低減に向けた関係部署での協議
- ・ 暑熱グッズの配布

愛三グループ 支援活動

国内外の会社が連携した改善活動を推進し、愛三グループのレベルアップ向上を目的に国内外のグループ会社を訪問しています。



国内交流会



現場視察(国内)



現場視察(海外)

従業員の安全と健康を守り、労働安全衛生関連法令を確実に遵守することは、働く人々の生活品質を維持・向上させる重要な社会貢献と考えています。労働環境の整備や教育・訓練の実施、事故防止対策の推進し、地域社会への信頼を築き上げていきます。

取り組み内容

労働安全衛生法令等順守調査（年1回実施）

労働安全衛生法の中で、各職場で責任を持って実施・管理すべき内容の順守状況を確認し、問題点を早期に発見・改善に繋げる活動を推進しています。

労働安全衛生法令等順守調査表（'24年度）

区分	取組・取組作業	備考：24年度追加・変更箇所		順守率
		代表例・社内規程・定規など	全労働者に対する教育とその数	
就業エリア全般	全ての作業	工場内作業、野外作業、事務作業（出張先など）、中継作業等 ※内訳詳細は、以下をリンク 【AS100001】 労働安全衛生法 搬入を行う搬入員教育（法第11条） 機械器具の作業者の教育（法第12条） し時間	有 全部署対象 （教育時間ごとに入入員数）	全職場で行う搬入・作業内作業要請の安全衛生教育の時間・回数等（搬入員だけでなく、機械器具で作業内容が変わった者も対象）
	通路	作業場に通ずる場所（歩行） 作業場の通路（敷物等も含む）	有 全部署対象 （敷物20㎡以上ごとに入入員数）	屋内通路の確保 積物自動車との接触の防止（歩行者は歩行者専用通行） 作業場の床面の安全管理 作業靴の使用義務

改善が必要な案件が発生した場合は、安全スタッフがサポートし迅速な改善を図っています。

労働安全衛生法令等順守調査表（一部抜粋）

施設設備の届出依頼（随時申請）

施設や設備を設置、移動、廃止をする際は、事前に、安全・環境関係法令の法規該非判定の完了を義務付けています。法規の申請・届出などの遅延、漏れを防ぎ会社の順法管理を強化しています。

【安全衛生関係法令】

事務局記入欄		
法令	判定	連絡・指示事項
消防法		
労働安全衛生法		
高圧ガス保安法		
その他法令		

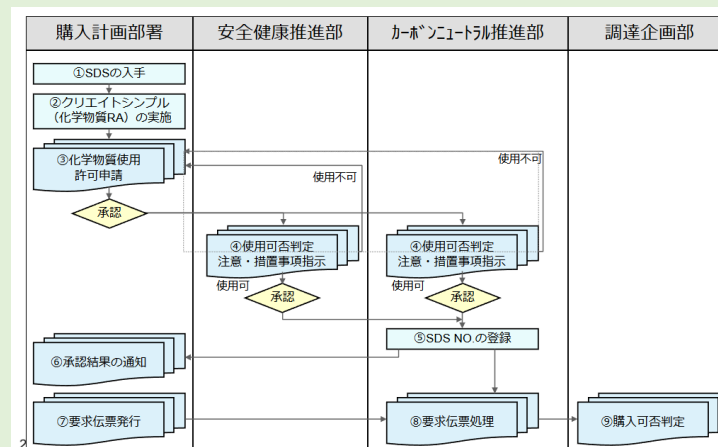
施設設備の届出書（一部抜粋）

審議結果を
職場へ通知

化学物質使用許可申請（随時申請）

当社では、化学物質の購入に際し、化学物質使用許可申請システムにて許可された製品以外は、購入できない仕組みが構築されています。

しかしながら、2023年4月に施行された新たな化学物質規制によるリスクアセスメント対象物質の大幅な増加及び、今後の対象物質の追加に対応するため、自社開発で化学物質使用許可申請システムを刷新しました。製品の有害性・危険性をはじめとする化学物質情報や法規制情報、化学物質リスクアセスメントの実施状況等の情報を紐づけ、一元管理できるようになりました。



化学物質使用許可申請フロー

自社データベース上で
集約・公開

TOPIC.10 社会貢献「地域社会への協力で町一番の安全健康な企業」

当社は、社員の安全意識向上と職場のレジリエンス強化を目的に、献血活動への協力および救命講習を定期的実施しています。これらの取り組みは、従業員の健康と安全を守るだけでなく、地域医療への貢献を通じて社会全体の安心・安全の向上に寄与するものです。今後も、参加促進と講習内容の充実を図り、持続可能な社会貢献活動として展開していきます。

取り組み内容

献血活動

各国内拠点で年2回、愛知県赤十字血液センターの献血バスが来社しています。多くの従業員の方が献血活動に協力しています。

<採血者人数（過去3年間）>

2022年	2023年	2024年
277	267	197



「献血サポーター」企業として活動中



献血バス



献血受付

普通救命講習

各国内拠点で年1～2回、応急手当普及員の資格を有した社員が講師となり、普通救命講習Ⅰを開催しています。



座学



実技指導

また、2024年度より、聴覚に配慮が必要な方を対象とした講習も実施しています。手話通訳者の協力を得て、緊急時に命を救うための知識と技能を習得しています。



手話通訳者との実技指導

受講者数 約1,300名

受講率 約41%（単独）

当社は、毎年7月1日～7月31日を「安全月間活動」、3月1日～3月31日を「年度末無災害運動」の期間とし、様々な安全に関するイベントを実施しています。安全月間活動に実施した「安全チャレンジ」は、基本的な安全行動が守れているかをキーワードに実施。年度末無災害運動期間では、毎年、講師をお招きし「安全講演会」を実施しています。

取り組み内容

安全チャレンジ

全従業員（パート、パートナー含む）の安全意識向上を目的に、基本的な安全行動の遵守状況を記録表でチェックする取り組みを実施しました。その結果、一定日数の目標を達成した方々へは、日頃の努力への感謝として記念品を贈呈しました。

安全 チャレンジ記録表

*24年 7月8日～7月26日

【記録表の記入例】 できた日には○を記入

ボケ手はなし
で転倒防止

安全チャレンジ実施方法

- ① 7/8～7/26まで3週間、安全行動にチャレンジ！できた下記の記録表に○をつける。
- ② 基本は月～金に実施。ただし土日に実施した場合は○つけてOK!
- ③ オリジナル項目は職員や個人で安全に関するチャレンジ内容を決めて実践！（任意）
- ④ 毎週、上司・同僚等に確認しサインしてもらいましょう
- ⑤ 3週間経ったら、FORMS（QRコード）より回答。
- ⑥ 12日以上できた項目6つ以上で達成！達成者には豪華商品が貰える！かも？

- 12日以上できたら「○」と記入
- 11日～1日でできたら「△」と記入
- 0日は空欄

		7月 8日～26日（3週間）																											
安全チャレンジ項目		目標達成の 日数目安	8月	9月	10月	11月	12月	13月	14月	15月	16月	17月	18月	19月	20月	21月	22月	23月	24月	25月	26月	27月	28月						
			月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日						
基本項目	ボケ手はなしで転倒防止	12日以上																											
	整理・整頓職場の5S	12日以上																											
	作業手順を守りゼロ災職場	12日以上																											
	6時間以上の睡眠でスッキリ	12日以上																											
	しっかり朝食毎日元気	12日以上																											
	毎日あいさつ明るい職場	12日以上																											
オリジナル項目	ラジオ体操でケガ予防	12日以上																											
		12日以上																											
		12日以上																											
		12日以上																											
第3者確認欄（上司又は同僚）		サイン又は印鑑																											

合計
評価

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

回答期限
8月9日(金)

<https://forms.office.com/r/TjwJkQWd>

結果回答はこちら！

あなたの安全チャレンジは

(6項目以上で達成)

安全チャレンジ記録表

記録表は、英語、ポルトガル語版も用意。
外国籍の方も参加しやすくしました。

参加者 2,057名

2,057名

参加率 65%

65%

安全講演会

毎年様々なテーマで講演会を実施しています。

＜直近の開催テーマ＞

- ・23年度テーマ『ほとんどの管理者が知らない、安全衛生の基本』

講師：環境ワークス株式会社 代表 黒崎由行 氏

- ・24年度テーマ『リスクアセスメントの専門家による講演。』

改めてあるべきRAを考えよう！』

講師：瀧田安全衛生マネジメント合同会社 CEO 瀧田勉 氏

会場開催とオンラインのハイブリッド開催や、アーカイブ公開を実施しました。また、国内G会社、海外拠点も一部参加しました。25年度も引き続き開催予定です。



オンライン会場の様子

参加者 約610名(平均)

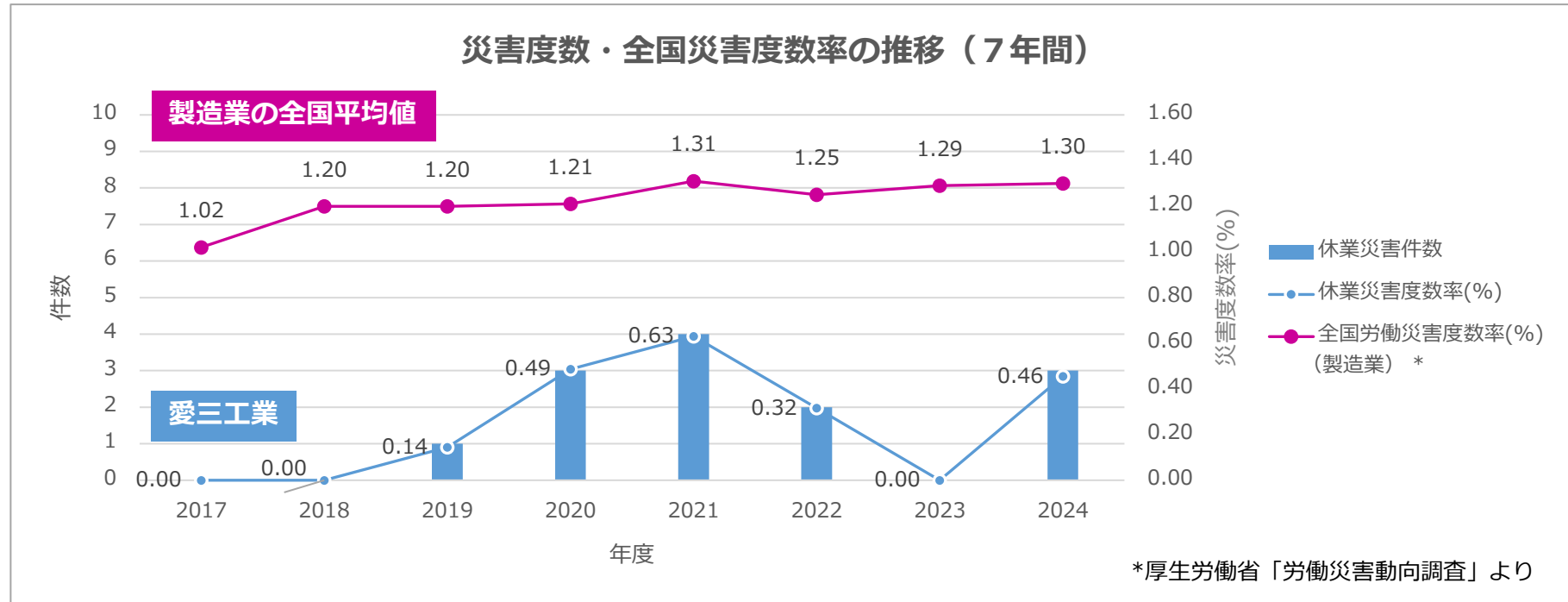
約610名(平均)

満足度 約90%(平均値)

約90%(平均値)

労働災害データ

労働災害		2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025 (目標)	2030 (目標)
休業災害		0	0	1	3	4	2	0	3	2	0
死亡災害（請負業者含む）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
労働災害率	度数率	0.00	0.00	0.14	0.49	0.63	0.32	0.00	0.46	0.30	0.00
	度数率 (製造業の全国平均値)	1.02	1.20	1.20	1.21	1.31	1.25	1.29	1.30	-	-



製造業の全国平均数値と比較すると、当社の度数率は低い数値で推移しています。
災害度数『ゼロ』を目指し、安全で安心な働きやすい職場環境づくり活動を全員参加で推進していきます。